

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2376300246		
法人名	有限会社 ネクストサブライ		
事業所名	グループホーム 東栄の家 (1号館)		
所在地	愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字久保田10-7		
自己評価作成日	令和3年11月20日	評価結果市町村受理日	令和3年12月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaj.gokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;jiyosyoCd=2376300246-00&amp;serviceCd=320&amp;type=search">https://www.kaj.gokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;jiyosyoCd=2376300246-00&amp;serviceCd=320&amp;type=search</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県新城市黒田字大岡132番地2		
聞き取り調査日	令和3年12月5日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

グループホーム東栄の家は国道151号線沿いでとても分かりやすく周辺には商店街や歯医者、イベント広場などがあり、とても立地条件が良いのどかな所にあります。また、駐在所や消防署も近くにあり安心できる環境です。利用者様は地元の方が多く、住み慣れた地域でのんびりとその人らしい生活が送れるように支援をし、利用者様に寄り添い安心して穏やかに暮らせることが第一だと考えております。また、利用者様の年齢は103歳、101歳の方をはじめ90歳以上の方は13名おられ年々超高齢化が進んでいる中で68歳の方が入居され、まるで親子のようなほほえましさも感じます。利用者様が元気に年を重ねることが出来るように支援し、

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

◎軽減要件適用事業所  
 今年度は「軽減要件適用事業所」に該当しており、外部評価機関による訪問調査を受けておりません。したがって、今年度の公表は以下の3点です。  
 ①別紙4「自己評価結果」の【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点】と「自己評価・実践状況」  
 ②軽減要件確認票  
 ③目標達成計画

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている ○ 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが ○ 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	私達が作った「ゆったりと楽しく」「自由にありのまま」「仲間と一緒に暮らす」との理念は皆が家族のように、自分の家で生活しているようにこの思いを共有し実践できるように努めています		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	新型コロナウイルスの影響で外出やイベントへの参加、ボランティアの方や保育園児、小、中学生の訪問はできない状況です。町内の店からお弁当をとったり、町内で野菜作りをしている方から無農薬で旬の野菜を安価で分けて頂いたりと交流しています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の場で様々な取り組みや支援等の内容を説明し理解を頂いています。新型コロナウイルス感染予防のため外出の機会がなくなり地域の方々に触れ合う機会が受診の時以外無くなっています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2か月に1回行い行政、地域や家族の代表の方に出席して頂き運営状況を報告しています。会議での貴重な意見や提案等をサービスの向上に活かせるように努めています		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者とは運営推進会議に協力して頂いたり認定調査や会議、研修等やコロナウイルスについて連絡を取り合ったりしています。東三河広域連合への提出書類の窓口にもなっていることから協力関係を築いています		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	一人体制以外は特別な理由がない限り玄関やユニット間の施設はしていません。AA課程（内部研修）で身体拘束について学ぶ機会があり、3か月に1回身体拘束適正化検討委員会を行い身体拘束について共有し拘束をしないケアに努めています		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	AA課程（内部研修）や本部から届く朝礼で虐待について学ぶ機会があります。職員一人ひとりが自覚を持ち見過ごされることがないように注意を払っています。また、管理者は年2回高齢者虐待についてレポート提出をしており虐待防止に努めています		

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関してはAA課程(内部研修)で学ぶ機会があります。以前は成年後見制度を活用され入居されていた利用者様がいましたが現在はいません。今後も機会があれば活用したいと思います		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結や改定等の際は管理者が説明を行います。不安や疑問点には納得して頂けるように説明し理解して頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様には運営推進会議に参加して頂いたり面会時やケアプラン作成時に意見や要望等を伺い運営等に反映するように努めています		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各館のカンファレンスの時間や職員会議、または直接でも自由に話ができるような環境作りをして、職員の意見や提案を参考にし業務等に活かしています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得者には資格手当の支援を行い達成手当や特別達成手当等各種手当の支給もあり向上心を持って働けるよう対応を行っています。時間外手当もありますが労働時間は定時で終われるよう職場環境の整備に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月AA課程(内部研修)を受けています。町と地域包括支援センター主催の地域ケア会議に毎月出席予定でしたが新型コロナウイルス感染予防のため行えておりません		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町内外の勉強会等は新型コロナウイルス感染予防のため行えていませんでしたが9月に2回町主催の現任介護職員研修があり参加し、同業者との交流の場にもなりました		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時は勿論のこと本人と話をし何が不安か信頼関係を築きながら安心した毎日が過ごせるように支援しています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期に築く家族との信頼関係はとて大切で初期には特に電話で様子を伝えたりご家族様の不安等に対応できるように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まずはお話をさせて頂き何をニーズとしているのか、求めている必要な支援を見極めてサービス提供し、本人が安心した生活が送れるように努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と利用者様という事だけではなく、孫になり娘になり又は嫁になりというような関係作りの中から日常いろいろな事を利用者様から学ぶ関係になっています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が訪問した時又は電話や手紙で日々の様子を負担にならないように伝えたり情報を共有したりと、協力をして頂きながら共に本人を支えていく関係を築いています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナウイルス感染予防のため面会は思うようにできておらず、ご家族様に協力して頂きガラス越しでの面会や電話でのやり取りを多くしています。他号館の知り合いの利用者様に会いに行ったりして他号館との交流の支援に努めています		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係を注意深く見守り、情報を共有し、性格や個人の気持ちを尊重しながら利用者様同士が無理なく関わり合えるような支援をしています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も時々連絡をしたり、また連絡を頂く場合は近況や退去後の様子を尋ねたり、気楽に相談や訪問してもらえるような関係作りに努めています		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個々に話をする機会を作ったり、日々の生活の中でも利用者様の態度や会話からおもいを把握するように努めています。又、職員間で情報を共有し把握に努めています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前には本人や家族から生活歴等の聞き取りを行い、カルテに個人情報として記入してあり把握に努めています。カルテに載っていないでも日常の会話の中からのいろいろな話を伺っています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの心身状態等は介護記録、申し送り、詳細記録、カンファレンス等で現状の把握に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族には日常関わることで希望や意向を聞き、反映できるように努めています。計画作成日にはモニタリングを行い意見交換をしながら現状に即した介護計画を作成しています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りやノートや個別の介護記録により情報の共有をしています。利用者様の変化には職員の話し合いで対応等検討しながら実践に活かし介護計画の見直しに役立てています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナウイルス感染予防のためご家族様の協力を得られずニーズ対応が難しい状況です。自宅への外出や外泊はできておらず病院受診や買い物は職員が対応しています。ホームで気分転換ができるような企画を模索中です		

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナウイルス感染予防のためイベント行事は中止になりボランティアの受け入れもできない状況です。コロナ禍においても収束状況に応じて柔軟に支援が出来るように努めたいと思います		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居にあたってはかかりつけ医の確認をした上で本人及び家族の希望に沿った病院での受診を支援しています		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様の体調の変化や受診に戸惑う時、疑問に思う事は協力医に相談したり、週1回出勤する訪問看護師に相談しアドバイスをもらっています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は病院に出向いたり、看護師や相談員の方と連絡を取り合って情報交換や相談をしています。医療機関とはより良い関係作りに努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化してくると終末期のあり方については医師の判断のもと今後の方針についてご家族様の気持ちを大切にしながら、医療機関と施設、ご家族様と共に方針を共有しながら支援に努めます		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に訓練は行えていないが急変や事故発生時は協力病院と連携して対応をしています。職員1名が応急手当普及員で実践力を身に付けています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防関係者や町の防災担当者からは、災害時は指示があるまでは室内で待機していることを勧められています。災害時は施設の目の前に自主防災会の事務局が設置されるため指示や協力は得られる環境にあります		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の名前の呼び方、言葉使いや接遇等人格を尊重した対応に気を付けたり排泄の失敗等本人を傷つけないよう対応には心掛けています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望等様々な場面で尋ねたり献立の希望、散髪をするしない等できる限り自己決定ができるよう働きかけています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様一人ひとりの体調、毎日のリズムを把握し本人の気持ちを尊重し、決して無理強いしないようにその人らしい暮らしになるようにつとめています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	以前は馴染みの美容院にも行ったりしたが皆さん高齢になり出掛けるのが難しくなりました。洋服を選んだり顔剃りをしたり、身だしなみには気を付け支援しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	高齢になり一緒に準備や片付けはできていませんが、一人ひとりの好きな物を献立に取り入れて作る努力をしています		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立表にて栄養バランスを取り水分制限がある利用者様には1日の摂取量をバランス良く配分して提供しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声かけにてご自分で出来る方はして頂き、汚れが残っていないかチェック、介助の必要な方は職員が介助し清潔保持に努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を作り排泄、排便の確認や排泄パターンを把握しています。タイミングを見計らいトイレの声かけをしたり、立位が難しい場合でも2人で介助をする等して、できる限りトイレで排泄できるようにしています		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食材を取り入れた献立作りや体操歩行運動を心掛けています。排便パターンにより薬にて排便を促す利用者様には薬の提供をしています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の時間帯は決まってしまうが希望されれば入浴できるように努めています。拒否がある場合は無理強いしないようにしています		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	こたつやソファで休息したりベッドで休まれる方もいます。居室は個室になっており、心地良い室温で休めるように温度調整自分だけの空間で安心して眠れるように支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局からの薬の説明書により一人ひとりの薬の目的を確認し、服薬の支援をしています。薬が変わった時は特に副作用の症状について注意深く観察しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物を畳むことを楽しみにしている利用者様がいたり、嗜好品を購入するのを楽しみにしている利用者様がいます。コロナウイルス感染予防のため職員が購入し楽しんで頂いています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	コロナウイルス感染予防のため外出できない状況が続いていますがドライブでお花見や紅葉を見たりまた、収束状況を見ながら町内イベント行事の移動動物園や文化祭作品展の見学に出掛け気分転換して頂いています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人がお金の所持はしていないが、お小遣い管理のもと、本人の購入したい物があればお小遣いから支払い、購入できるような支援をしています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取り次ぎはいつでも行き安心できる環境を作っています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	花や壁面飾りで季節感を取り入れるように工夫しています。光や温度は利用者様に合わせて調整しています。テレビの音量も時間帯によって調整して居心地良く過ごせるようにしています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間にはテーブルと椅子、藤のベンチ、畳の間には掘りこたつとソファがありそれぞれがテレビを観たり新聞を読んだり談話をしたりと、思い思いの場所で過ごせるような工夫をしています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物やポータブルトイレ、扇風機、テレビ、家族の写真等があり、居心地良く過ごせるように工夫をしています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各入り口には大きな文字で表示しています。バリアフリーで手すりがあり身体機能に合わせて歩行や、シルバーカー、車椅子の移動もできる空間を確保しています。身体状況に合わせてベッドの高さを調整したり手すりを付け、安全に生活できるように配慮しています		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2376300246		
法人名	有限会社 ネクストサブライ		
事業所名	グループホーム 東栄の家 (2号館)		
所在地	愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字久保田10-7		
自己評価作成日	令和3年11月20日	評価結果市町村受理日	令和3年12月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kajikokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&amp;jiyosyoCd=2376300246-00&amp;serviceCd=320&amp;type=search">https://www.kajikokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&amp;jiyosyoCd=2376300246-00&amp;serviceCd=320&amp;type=search</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県新城市黒田字大岡132番地2		
聞き取り調査日	令和3年12月5日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

グループホーム東栄の家は国道151号線沿いでとても分かりやすく周辺には商店街や歯医者、イベント広場などがあり、とても立地条件が良いのどかな所にあります。また、駐在所や消防署も近くにあり安心できる環境です。利用者様は地元の方が多く、住み慣れた地域でのんびりとその人らしい生活が送れるように支援をし、利用者様に寄り添い安心して穏やかに暮らせることが第一だと考えております。また、利用者様の年齢は103歳、101歳の方をはじめ90歳以上の方は13名おられ年々超高齢化が進んでいる中で68歳の方が入居され、まるで親子のようなほほえましさも感じます。利用者様が元気に年を重ねることが出来るように支援し、

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

◎軽減要件適用事業所  
 今年度は「軽減要件適用事業所」に該当しており、外部評価機関による訪問調査を受けておりません。したがって、今年度の公表は以下の3点です。  
 ①別紙4「自己評価結果」の【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点】と「自己評価・実践状況」  
 ②軽減要件確認票  
 ③目標達成計画

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	私達が作った「ゆったりと楽しく」「自由にありのまま」「仲間と一緒に暮らす」との理念は皆が家族のように、自分の家で生活しているようにこの思いを共有し実践できるように努めています		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	新型コロナウイルスの影響で外出やイベントへの参加、ボランティアの方や保育園児、小、中学生の訪問はできない状況です。町内の店からお弁当をとったり、町内で野菜作りをしている方から無農薬で旬の野菜を安価で分けて頂いたりと交流しています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の場で様々な取り組みや支援等の内容を説明し理解を頂いています。新型コロナウイルス感染予防のため外出の機会がなくなり地域の方々に触れ合う機会が受診の時以外無くなっています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2か月に1回行い行政、地域や家族の代表の方に出席して頂き運営状況を報告しています。会議での貴重な意見や提案等をサービスの向上に活かせるように努めています		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者とは運営推進会議に協力して頂いたり認定調査や会議、研修等やコロナウイルスについて連絡を取り合ったりしています。東三河広域連合への提出書類の窓口にもなっていることから協力関係を築いています		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	一人体制以外は特別な理由がない限り玄関やユニット間の施設はしていません。AA課程(内部研修)で身体拘束について学ぶ機会があり、3か月に1回身体拘束適正化検討委員会を行い身体拘束について共有し拘束をしないケアに努めています		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	AA課程(内部研修)や本部から届く朝礼で虐待について学ぶ機会があります。職員一人ひとりが自覚を持ち見過ごされることがないように注意を払っています。また、管理者は年2回高齢者虐待についてレポート提出をしており虐待防止に努めています		

### 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関してはAA課程(内部研修)で学ぶ機会があります。以前は成年後見制度を活用され入居されていた利用者様がいましたが現在はいません。今後も機会があれば活用したいと思います		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結や改定等の際は管理者が説明を行います。不安や疑問点には納得して頂けるように説明し理解して頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様には運営推進会議に参加して頂いたり面会時やケアプラン作成時に意見や要望等を伺い運営等に反映するように努めています		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各館のカンファレンスの時間や職員会議、または直接でも自由に話ができるような環境作りをして、職員の意見や提案を参考にし業務等に活かしています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得者には資格手当の支援を行い達成手当や特別達成手当等各種手当の支給もあり向上心を持って働けるよう対応を行っています。時間外手当もありますが労働時間は定時で終われるよう職場環境の整備に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月AA課程(内部研修)を受けています。町と地域包括支援センター主催の地域ケア会議に毎月出席予定でしたが新型コロナウイルス感染予防のため行えておりません		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町内外の勉強会等は新型コロナウイルス感染予防のため行えていませんでしたが9月に2回町主催の現任介護職員研修があり参加し、同業者との交流の場にもなりました		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の話相手になってあげたり、要望や困っていることを聴き安心して生活できるよう関わりを持つようになっています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の不安等の相談に乗ったり、家族の要望を聞き取り、不安、要望に対応できるように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まずはお話をさせて頂き何をニーズとしているのか、求めている必要な支援を見極めてサービス提供し、本人が安心した生活が送れるように努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と利用者様という事だけではなく、孫になり娘になり又は嫁になりというような関係作りの中から日常いろいろな事を利用者様から学ぶ関係になっています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様には現状を手紙や電話で伝えたり、訪問した時には日々の様子を伝えたり、共に本人を支えていく関係を築いています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナウイルス感染予防のため面会は思うようにできておらず、ご家族様に協力して頂きガラス越しでの面会や電話でのやり取りを多くしています。他号館の知り合いの利用者様に会いに行ったりして他号館との交流の支援に努めています		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士良い関係でいられるよう、トラブルがないように相性の合う方の席を近くにしたりと穏やかな雰囲気作りに努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も時々連絡をしたり、また連絡を頂く場合は近況や退去後の様子を尋ねたり、気楽に相談や訪問してもらえるような関係作りに努めています		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の要望を聞き入れて本人の思いを出来る限り受け入れ対応し、意思を伝えることが不可能な利用者様は、日頃の様子で感じ取り対応しています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様に寄り添い会話の中で昔の生活、家族のことや入居に至るまでの経緯を傾聴しています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	それぞれのADL,体調も違うため、一人ひとりに合った生活のリズムを見極め対応するように努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	現状に添った介護計画を作成するにあたり、本人、家族と話し合い、モニタリングを行い現状に合った課題を挙げ作成をしています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	医師からの指示で水分摂取量等制限がある方は表を作成して記録し共有しています。また、介護記録、詳細記録に残し介護計画の見直しに活かしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナウイルス感染予防のためご家族様の協力を得られずニーズ対応が難しい状況です。自宅への外出や外泊はできておらず病院受診や買い物は職員が対応しています。ホームで気分転換ができるような企画を模索中です		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散髪してもらいたい、外で散歩したい等の声に耳を傾け、心身共に安全で豊かな暮らしが日々の中で出来るよう支援しています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居にあたってはかかりつけ医の確認をした上で本人及び家族の希望に沿った病院での受診を支援しています		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様の体調の変化や受診に戸惑う時、疑問に思う事は協力医に相談したり、週1回出勤する訪問看護師に相談しアドバイスをもらっています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は病院に出向いたり、看護師や相談員の方と連絡を取り合って情報交換や相談をしています。医療機関とはより良い関係作りに努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化してくると終末期のあり方については医師の判断のもと今後の方針についてご家族様の気持ちを大切にしながら、医療機関と施設、ご家族様と共に方針を共有しながら支援に努めます		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に訓練は行えていないが急変や事故発生時は協力病院と連携して対応をしています。職員1名が応急手当普及員で実践力を身に付けています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防関係者や町の防災担当者からは、災害時は指示があるまでは室内で待機していることを勧められています。災害時は施設の目の前に自主防災会の事務局が設置されるため指示や協力は得られる環境にあります		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの性格や言葉の捉え方などを見極め、その人に合った言葉かけや安心した気持ちでいられるように対応しています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ADLや体調面で全員が自己決定は難しいが、本人の思いを表情で読み取ったりこちらから静かに聞いてみる。また、自己決定できる方もいっしょに、一人ひとりに合った対応をしています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、その人らしく趣味、興味のあるものを聞き出し、本人の希望にそってその日を過ごしています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出する時は、本人に着て行くものを選んで頂いたり、髭を剃ったり、爪を切ったりと気持ち良く過ごして頂けるように対応しています。また、利用者様の髪は訪問される床屋さんで散髪しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立を利用者様と考えたり材料の下準備をしたりと職員と関わっています		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分や食事制限がある方には指示に従って提供しています。個々の状態に応じてスプーンや箸、食器にも気を配りバランス良く食べて頂ける工夫をしています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の状態に合った歯磨き支援や入れ歯のケア又、歯科医からの指示がある方には指示に従い口腔内の清潔に努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の訴えが出来ない方にはその人の排泄パターンを把握して介助しています。また、		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維の多い食材に気を配り、牛乳や乳酸菌飲料、ヨーグルトの提供をしています。水分を好まない方にはスポーツドリンク等で代用して飲んで頂いています。毎日体操をしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ぬるめがいい、熱い風呂がいい、仲良しの方と入りたい等の希望にそった支援をしています		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	温度調節、湿度等空調を考えたり、また愛着のある枕や布団等使用して安眠できるよう支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局からの薬の説明書により一人ひとりの薬の目的を確認し、服薬の支援をしています。薬が変わった時は特に副作用の症状について注意深く観察しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様に好きな物を聞き出し、誕生日会等で本人の好物を提供したり、コロナ禍で外食できないため本人が食べたいお弁当を選んで取り寄せたりと楽しめて気分転換できる食事の支援をしています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	コロナウイルス感染予防のため外出できない状況が続いていますがドライブでお花見や紅葉を見たりまた、収束状況を見ながら町内イベント行事の移動動物園や文化祭作品展の見学に出掛け気分転換して頂いています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人がお金の所持はしていないが、お小遣い管理のもと、本人の購入したい物があればお小遣いから支払い、購入できるような支援をしています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話がある場合は取り次ぎをしたり希望があれば電話をしてお話ができるように支援しています。手紙を書かれた時は家族に渡しています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、カウンターテーブルに花を飾り、朝はカーテンを開け自然の彩光を取り込み、空調に気配りして過ごしやすく配慮しています。コロナ対策で窓は閉め切らず風通しを良くしています。整理整頓をし気持ち良く生活できる雰囲気作りをしています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室でテレビを観たり体を休めたり、またソファで趣味の編み物をする方もあり、それぞれ自分らしく過ごされています。また、他号館の知り合いの方と交流される等の居場所の工夫をしています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族の写真やテレビがあり自分の趣味で作ったまゆ花などホームに飾ってほしいと持って来られる方もいます。寝具や衣類も愛着のある物を使用し居心地良く暮らせる工夫をしています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各入り口には大きな文字で表示しています。バリアフリーで手すりがあり身体機能に合わせて歩行や、シルバーカー、車椅子の移動もできる空間を確保しています。身体状況に合わせてベッドの高さを調整したり手すりを付け、安全に生活できるように配慮しています		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2376300246		
法人名	有限会社 ネクストサブライ		
事業所名	グループホーム 東栄の家 (3号館)		
所在地	愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字久保田10-7		
自己評価作成日	令和3年11月20日	評価結果市町村受理日	令和3年12月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaj.gokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;jiyosyoCd=2376300246-00&amp;serviceCd=320&amp;type=search">https://www.kaj.gokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;jiyosyoCd=2376300246-00&amp;serviceCd=320&amp;type=search</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県新城市黒田字大岡132番地2		
聞き取り調査日	令和3年12月5日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

グループホーム東栄の家は国道151号線沿いでとても分かりやすく周辺には商店街や歯医者、イベント広場などがあり、とても立地条件が良いのどかな所にあります。また、駐在所や消防署も近くにあり安心できる環境です。利用者様は地元の方が多く、住み慣れた地域でのんびりとその人らしい生活が送れるように支援をし、利用者様に寄り添い安心して穏やかに暮らせることが第一だと考えております。また、利用者様の年齢は103歳、101歳の方をはじめ90歳以上の方は13名おられ年々超高齢化が進んでいる中で68歳の方が入居され、まるで親子のようなほほえましさも感じます。利用者様が元気に年を重ねることが出来るように支援し、

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

◎軽減要件適用事業所  
 今年度は「軽減要件適用事業所」に該当しており、外部評価機関による訪問調査を受けておりません。したがって、今年度の公表は以下の3点です。  
 ①別紙4「自己評価結果」の【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点】と「自己評価・実践状況」  
 ②軽減要件確認票  
 ③目標達成計画

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	私達が作った「ゆったりと楽しく」「自由にありのまま」「仲間と一緒に暮らす」との理念は皆が家族のように、自分の家で生活しているようにこの思いを共有し実践できるように努めています		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルスの影響で外出やイベントへの参加、ボランティアの方や保育園児、小、中学生の訪問はできない状況です。町内の店からお弁当をとったり、町内で野菜作りをしている方から無農薬で旬の野菜を安価で分けて頂いたりと交流しています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の場で様々な取り組みや支援等の内容を説明し理解を頂いています。新型コロナウイルス感染予防のため外出の機会がなくなり地域の方々に触れ合う機会が受診の時以外無くなっています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2か月に1回行い行政、地域や家族の代表の方に出席して頂き運営状況を報告しています。会議での貴重な意見や提案等をサービスの向上に活かせるように努めています		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者とは運営推進会議に協力して頂いたり認定調査や会議、研修等やコロナウイルスについて連絡を取り合ったりしています。東三河広域連合への提出書類の窓口にもなっていることから協力関係を築いています		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	一人体制以外は特別な理由がない限り玄関やユニット間の施錠はしていません。AA課程(内部研修)で身体拘束について学ぶ機会があり、3か月に1回身体拘束適正化検討委員会を行い身体拘束について共有し拘束をしないケアに努めています		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	AA課程(内部研修)や本部から届く朝礼で虐待について学ぶ機会があります。職員一人ひとりが自覚を持ち見過ごされることがないように注意を払っています。また、管理者は年2回高齢者虐待についてレポート提出をしており虐待防止に努めています		

### 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関してはAA課程(内部研修)で学ぶ機会があります。以前は成年後見制度を活用され入居されていた利用者様がいましたが現在はいません。今後も機会があれば活用したいと思います		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結や改定等の際は管理者が説明を行います。不安や疑問点には納得して頂けるように説明し理解して頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様には運営推進会議に参加して頂いたり面会時やケアプラン作成時に意見や要望等を伺い運営等に反映するように努めています		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各館のカンファレンスの時間や職員会議、または直接でも自由に話ができるような環境作りをして、職員の意見や提案を参考にし業務等に活かしています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得者には資格手当の支援を行い達成手当や特別達成手当等各種手当の支給もあり向上心を持って働けるよう対応を行っています。時間外手当もありますが労働時間は定時で終われるよう職場環境の整備に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月AA課程(内部研修)を受けています。町と地域包括支援センター主催の地域ケア会議に毎月出席予定でしたが新型コロナウイルス感染予防のため行えておりません		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町内外の勉強会等は新型コロナウイルス感染予防のため行えていませんでしたが9月に2回町主催の現任介護職員研修があり参加し、同業者との交流の場にもなりました		

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	意思疎通のできない方には相手に合わせてわかりやすい言葉で話すようにしています。日常生活の中で職員が話し合い本人の言葉や訴えを聞き支援できるように努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前には家族の思いを聞きサービスに反映させるよう努めています。入居が暫くは電話で様子を伝えたりして家族の不安の軽減に努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まずはお話をさせて頂き何をニーズとしているのか、求めている必要な支援を見極めてサービス提供し、本人が安心した生活が送れるように努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と利用者様という事だけではなく、孫になり娘になり又は嫁になりというような関係作りの中から日常いろいろな事を利用者様から学ぶ関係になっています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様には現状を手紙や電話で伝え理解して頂いており、共に本人を支えていく関係を築いています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナウイルス感染予防のため面会は思うようにできておらず、ご家族様に協力して頂きガラス越しでの面会や電話でのやり取りを多くしています。他号館の知り合いの利用者様に会いに行ったりして他号館との交流の支援に努めています		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の相性や心身の状態を考えて席を決め、気楽に話ができるようにしています。また、良い環境を保てるよう橋渡しをしています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も時々連絡をしたり、また連絡を頂く場合は近況や退去後の様子を尋ねたり、気楽に相談や訪問してもらえるような関係作りに努めています		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人がどうしたいか希望などを聞き暮らしの中で楽しい、幸せと感じて頂けるよう声かけし支援をしています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	外出等が困難な時ですが季節に応じた行事、コロナ禍でも収束時に行ったイベントへ参加し利用者様との交流も兼ねて気分転換して頂いています。また、一人ひとりのペースに合わせてプライベートな時間も確保しています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員は常に利用者様の表情やいつもと違う事があればバイタル測定をし変化があればすぐに対応しご家族様にも連絡し把握して頂いています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的な話し合いだけでなく、状態の変化が見られる場合はなどは随時話し合いを行い、必要な場合はご家族様とも相談をして介護計画の見直しなどを行っています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を介護記録に記入、特別なことがある場合は詳細記録に記入をし、職員間で情報共有しています。今、または将来必要となる情報にもなります。細かな申し送りはノートにて情報共有しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナウイルス感染予防のためご家族様の協力を得られずニーズ対応が難しい状況です。自宅への外出や外泊はできておらず病院受診や買い物は職員が対応しています。ホームで気分転換ができるような企画を模索中です		

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナウイルス感染予防のためイベント行事は中止になりボランティアの受け入れもできない状況です。コロナ禍においても収束状況に応じて柔軟に支援が出来るように努めたいと思います		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居にあたってはかかりつけ医の確認をした上で本人及び家族の希望に沿った病院での受診を支援しています		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様の体調の変化や受診に戸惑う時、疑問に思う事は協力医に相談したり、週1回出勤する訪問看護師に相談しアドバイスをもらっています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は病院に出向いたり、看護師や相談員の方と連絡を取り合って情報交換や相談をしています。医療機関とはより良い関係作りに努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化してくると終末期のあり方については医師の判断のもと今後の方針についてご家族様の気持ちを大切にしながら、医療機関と施設、ご家族様と共に方針を共有しながら支援に努めます		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に訓練は行えていないが急変や事故発生時は協力病院と連携して対応しています。職員1名が応急手当普及員で実践力を身に付けています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防関係者や町の防災担当者からは、災害時は指示があるまでは室内で待機していることを勧められています。災害時は施設の目の前に自主防災会の事務局が設置されるため指示や協力は得られる環境にあります。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の生活歴や過去の生き方を知り、その人に合った声かけや対応をしています。今までの生活の中で趣味として、生きがいとして持ってきたものを持続して頂けるよう支援しています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しやすい雰囲気作りをしたり、自己決定が難しい方には会話をすることで、何を求めているかを感じ取るようにしています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	意思表示がうまくできなかつたり、感情が不安定な方もいるため、何がしたいかなどを聞き可能な限り希望に沿うようにしています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	慣れ親しんだ衣類や小物を持参して頂いたり、希望の衣類や生活に必要な物を購入しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	1週間の献立を記入したボードを目に付きやすい所に掲示し、季節の食材を取り入れたり盛り付けに工夫しています。また、利用者様にテーブル拭きや食器の拭き上げも手伝って頂いています		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりその人に合った量や栄養バランスも考えながら提供しています。飲み込みが弱い方にはお粥やミキサー食で柔らかく噛みやすく、切り方にも工夫して提供しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯磨きの声かけをし、ご自分で出来ない方には手助けを行っています。また、入れ歯の管理ができない方はホームで対応しています		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のパターンを把握し、排泄チェック表を用いたり、タイミングを見計らって声かけや誘導でトイレでの排泄をして頂けるよう支援しています		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	発酵食品や、繊維質のものを多く食べて頂けるよう献立を工夫しています。便秘体質で便秘薬が処方されている方は、排泄チェック表を用いて排泄状況を把握して薬を飲んで頂くようにしています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	お湯を好みの温度にしたり、気の合う利用者様同士で入浴したり、気分良く入って頂けるようにしています		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様それぞれのペースで過ごして頂いています。居室の空調や衣類、寝具の選択など、安眠に繋がるよう支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局からの薬の説明書により一人ひとりの薬の目的を確認し、服薬の支援をしています。薬が変わった時は特に副作用の症状について注意深く観察しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来ることや好きなことをして頂き、体操やレクリエーションもその日の状況で内容を決めて行っています。外気浴も気分転換に良いので短時間でも出られる日は出るようにしています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	コロナウイルス感染予防のため外出できない状況が続いていますがドライブでお花見をしたり紅葉を見たりまた、収束状況を見ながら町内イベント行事の移動動物園や文化祭作品展の見学に出掛け気分転換して頂いています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金はホームで預かり管理をしています。希望するものがあればお小遣いを預かり購入しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話がある場合は取り次ぎをしたり希望があれば電話をしお話ができるように支援しています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一年を通して、日差しや空調には特に気を付けています。掲示物は季節に合った物を、食事には旬の食材を使い季節を感じながら楽しめるように工夫しています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	基本的にそれぞれの席は決まっているが、コミュニケーションがとれるよう自由に座って頂けるようにしています。一人で過ごしたい時は居室やソファなどでゆっくりと過ごして頂いています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物や馴染みの物を持って来て頂き、衣類等は衣類ケースに何が入っているか書いてわかりやすいようにし、少しでも居心地良く過ごして頂けるように工夫しています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや居室などの表示を大きくわかりやすくして、自分で出来ることはして頂いています。一人ひとりに合った動線の安全確保のため環境整備をしています		